

伊勢原市地域公共交通計画(案)の パブリックコメントの実施結果について

1 実施期間

令和5年2月15日（水）から令和5年3月16日（木）まで

2 閲覧場所

市役所2階の都市政策課、または1階ロビー、図書館、各公民館、いせはら市民活動サポートセンター、市ホームページ

3 意見提出方法

住所、氏名及び意見を明記し、郵送、ファクシミリ、電子メール、電子申請または直接担当へ提出

4 周知方法

広報いせはら（2月15日号）に掲載

5 提出意見

8件（5名）提出あり

パブリックコメント意見への対応について

対応区分		件数
A	ご意見を踏まえ、計画に反映するもの	0件
B	ご意見の趣旨が既に計画案に反映されているもの	2件
C	今後、施策や事業の参考とするもの	1件
D	ご意見として承ったもの	5件

No	市民意見	区分	対応方針
1	<p>1 比々多地区の国道246号を経路とするバス便は、通院や買い物のために今後も継続して運行していただきたい。</p>	B	<p>本計画では、路線バスネットワークの維持・充実に努めるとともに、市内の移動特性を踏まえながら、地域公共交通の利便性の向上を図ることを施策の一つとしています。</p> <p>今後も、公共交通事業者との連携協力のもと、外出時における地域公共交通の利便性の向上に取り組んでいきたいと考えています。</p>
1	<p>2 バス便のない地域と病院を結ぶ交通機関として、他市で運行しているコミュニティバスなども参考にしてはどうか。</p>	C	<p>本計画では、バス便のない公共交通空白地区の移動支援に関する地域公共交通のあり方について、検討を進めていくこととしています。</p> <p>いただきました御意見を参考に、地域の実情やニーズに対応した移動環境支援のあり方について検討をしていきたいと考えています。</p>
1	<p>3 公共交通機関が少なく、運転免許証も返納せねばならない高齢者にとって、自転車等は貴重な交通手段です。</p> <p>車道を走るには恐怖心があるため、何か工夫してもらえと事故を防ぐことができると考える。</p>	D	<p>自転車は、身近な移動手段であり、公共交通機関へのアクセスなどにおいても、多くの市民に利用されているものと認識をしています。</p> <p>安心安全に自転車が利用できるよう、関係機関等との連携を図りながら、地域公共交通施策を推進していきたいと考えています。</p>
2	<p>4 東名秦野には一部、夜行バスが停車していますが、東名伊勢原には夜行バスが停車しません。</p> <p>東名伊勢原にも夜行バスが停車するよう、バス事業者と交渉してほしい。</p>	D	<p>東名高速道路伊勢原バス停に停車する高速バスは、東京駅（日本橋口）行き、バスタ新宿行き、名古屋駅行きなど、6系統が運航されています。</p> <p>今後も、本市の地域公共交通手段の一つとして、利用環境のあり方について、検討していきたいと考えています。</p>

No	市民意見	区分	対応方針
3	<p>5 少子高齢化、若年層の運転離れ等を踏まえると、公共交通の利用を促進させるだけでなく、ドライバーの負担軽減や人員の確保など公共交通を提供する側の体制を確保することも必要だと思えます。</p> <p>6 まちづくりの観点から、公共交通に対して市が補助等を考えなくていいのでしょうか。事業者任せの公共交通では、採算が合わない路線は撤退をするのではないかと心配します。</p>	D	<p>本市では、地域公共交通計画を基に、地域公共交通事業者や学識経験者、また、関係機関等で構成する「伊勢原市地域公共交通協議会」を中心に議論を行い、必要となる施策を推進しています。</p> <p>こうした中で、地域公共交通サービスを提供する側の体制のあり方についても議論を行いながら、必要となる施策を推進していきたいと考えています。</p> <p>本市では、地域公共交通計画を基に、地域公共交通事業者や学識経験者、また、関係機関等で構成する「伊勢原市地域公共交通協議会」を中心に議論を行い、必要となる施策を推進しています。</p> <p>こうした中で、地域公共交通事業者や行政などの役割や取組について議論を行いながら、必要となる施策を推進していきたいと考えています。</p>
4	<p>7 パブリックコメントに使用する資料が分量が多く煩雑なため、要点だけを箇条書きと図などで分かりやすくまとめる、現状と改善点のみを冒頭に持ってきて、その背景を次に、計画の位置づけやこれまでの取り組みは、参考として最後に載せるなど、短い時間の確認が可能な市民にとって意見の言いやすい体裁としていただきたい。</p>	D	<p>今後は、内容を要約した資料を添付するなど、限られた時間の中でも、市民が意見を容易に提出ができるよう、工夫をしていきたいと考えています。</p> <p>ご意見につきましては、今後の市民説明等の資料作成に当たっての参考とさせていただきます。</p>
5	<p>8 伊勢原市内の路線バスは運行本数が少なくタクシーは台数が少ない。全国的にも運転手不足で過労働の状況なので、ある程度は仕方ないが、以下の改善は可能ではないだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バス：回送バスが多く走っている経路について、回送バスを使って運行本数を増やし、乗車人数を増やせるのではないかと。 ・タクシー：定額タクシーサービスmobiやMaaSにより、タクシーの配車効率を上げて福祉タクシーにも活用できるのではないだろうか。 	B	<p>御意見にありますように、持続可能な地域公共交通ネットワークを維持形成していくためには、利用者と事業者の双方にとって、効率的に地域公共交通機関が稼働していることが求められると考えており、本計画の施策として「スマートモビリティ社会への対応」を掲げています。</p> <p>今後の地域公共交通施策の推進に当たっては、地域公共交通事業者との連携のもと、MaaSなど情報通信技術などを活用した取組により、市民が利用しやすく円滑に移動することができる「スマートモビリティ社会」の実現を目指していきたいと考えています。</p>